

# とぎつ

令和7年  
第4回定例会

NO.180

2026年1月16日  
発行

継林 継林

発行：長崎県時津町議会

# 議会だより



|        |                 |
|--------|-----------------|
| P2     | 議長新年挨拶・議員全員集合写真 |
| P3     | 令和7年度補正予算・賛否    |
| P4～P15 | 一般質問 (11名)      |
| P16～17 | 議員活動            |
| P18～19 | 郷土芸能存続の危機       |
| P20    | コスモス会館完成        |

## コスモス会館大改修工事完成

詳しくは裏表紙へ



# あけましておめでとうございます 本年もよろしくお願いいたします

議員一同



内田 裕三 平埜 靖 鳥居 浩一 永田 博信 川原 貴光 古谷 文夫 大塚 俊久  
 浜辺 なみえ 久保 哲也 中原 ゆう子 山口 一三 濱崎 幸徳 森 孝太郎 新井 政博



時津町議会議長 山口 一三

明けましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、ご家族お揃いで輝かしい新年を迎えられましたことと、心よりお慶び申し上げますとともに、日頃から議会運営・活動に對しまして、ご支援とご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

昨年、国内のトップニュースとしては、10月の内閣総理大臣指名選挙において、日本憲政史上初の女性内閣総理大臣に「高市早苗」氏が指名され、首相就任早々海外首脳会議に出席、我が国の持てる力を海外首脳にアピールしました。

4月13日開幕した大阪・関西万博では、158の国・地域の協力で、一般入場者数2千557万8千986人を数え、当初想定の2千820万人には届きませんでした。10月13日184日間の幕を閉じました。

海外では、トランプ氏の2期目の大統領再任に伴う関税引き上げ、未だに終結しないロシアのウクライナ侵攻・停戦協議、イスラエルとハマスの停戦合意など世界から注目されました。

一方、スポーツ関係では、米国ワールドシリーズでドジャースとブルージェイズが対戦、山本投手が連投にも関わらず3勝し、MVPを獲得、大谷選手、佐々木投手の活躍もあり、2年連続のワールドチャンピオンに輝き、地元ロサンゼルスはもとより世界中に感動を与えました。

県内では、9月14日、天皇后陛下ご臨席の下、「ながさきピース文化祭2025」(第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭)が11月30日迄開催され、県内各地で音楽、演劇、舞踊、伝統文化、デジタルスタンプリーなど、楽しいイベントが開催されました。

議会におきましては、議会改革の一環として、一昨年に引き続き、令和7年度一般会計等の予算審査、令和6年度の一般会計等の決算審査、各常任委員会毎に開催致しました各種団体との意見交換会や、議員間討議などを実施してまいりました。

各種団体から寄せられましたご意見・ご要望等につきましては、速やかに現状を確認し、関係各課に申し入れ、できるものから実現できるよう努力しております。

結びに、町民の皆さまにとりまして素晴らしい、幸多き一年となりますことを、心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶と致します。

# 一般会計補正予算・9億8千200万円を追加上程可決 一般会計予算総額・160億9千万円となった

## 国の経済対策・物価高騰対応重点支援地方交付金を活用



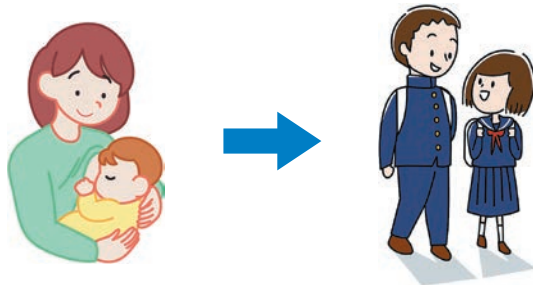
水道・下水道の基本料金  
1千826円を1月から3月まで  
なんと減免



町立小中学校の給食食材費補助  
2,300万円



物価高対応子育て支援応援手当・1億800万円  
(0歳～高校生世代・一人2万円の支給)



障害者医療費を「本町独自」で  
令和8年4月から現物給付を行います



### 令和7年第4回定例会（12月議会）の議案及び賛否

| 議案等番号 | 議案名                             | 審議結果 | 内田裕三 | 鳥居浩一 | 永田博信 | 古谷文夫 | 森孝太郎 | 大塚俊久 | 平埜靖 | 川原貴光 | 浜辺なみえ | 中原ゆう子 | 久保哲也 | 新井政博 | 濱崎幸徳 |
|-------|---------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|-------|-------|------|------|------|
| 第83号  | 時津町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例 | 可決   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ●     | ○     | ○    | ○    | ○    |
| 第94号  | 町長及び副町長の給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例 | 可決   | ●    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ●     | ○     | ○    | ○    | ○    |

○：賛成 ●：反対 △：退席 欠：欠席 ※議長は裁決に加わらないため、掲載しておりません。  
※紙面の都合により、今回提出された19議案のなかで、反対のある議案のみ掲載しています。

# 一般質問

■ 質問の内容は  
事前通告制です

## 新井 政博 議員

5



- 1、時津町の観光戦略について
- 2、時津町におけるドローンの活用について

## 森 孝太郎 議員

6



- 1、町の情報発信について
- 2、ケアラーへの支援の推進について

## 濱崎 幸徳 議員

7



- 1、本町の医療費助成について
- 2、本町の投票立会人の状況について
- 3、プラごみ削減と熱中症対策の一環としての給水スポットの設置について

## 鳥居 浩一 議員

8



- 1、「歩くまちづくり」事業について
- 2、南公園について
- 3、学校給食の無償化について

## 古谷 文夫 議員

9



- 1、時津町第6次総合計画について
- 2、基金の運用について
- 3、時津川の清掃について

## 中原 ゆう子 議員

10



- 1、がん検診について
- 2、イノシシ対策について
- 3、小中学校の楽器について

## 内田 裕三 議員

11



- 1、防災行政無線について
- 2、自主防災組織について

## 浜辺 なみえ 議員

12



- 1、本町の地域公共交通施策について
- 2、不登校、引きこもり対策について

## 大塚 俊久 議員

13



- 1、イオン周辺の交通安全・交通渋滞について
- 2、中学校の部活動地域移行について

## 川原 貴光 議員

14



- 1、大村湾の漁業について
- 2、郷土芸能について

## 平埜 靖 議員

15



- 1、介護タクシーと福祉タクシーについて
- 2、とぎつの森再生計画“プロジェクトD” どんぐり事業と鳴鼓岳について

\*各議員の一般質問は、録画放送をQRコードよりご覧になれます



新井 政博 議員



録画放送はこちらから

殉教地鷹島を  
世界遺産登録できないか

現時点での登録の考えはない

山上 町長

**Q** 観光振興の現場で取り組んでいる方々の声を聞くことは非常に有意義と思うが、考えは。

**A** 現場で取り組んでいる方々の意見を聞くことは、観光振興にとどまらず、あらゆる分野においても極めて重要と認識しているので、今後現場の方々の声を一つひとつ丁寧に聞きながら、町政運営に反映していきたいと考えている。



殉教地 鷹島

**Q** 観光客を集めるには、インフラ整備や、WiFiなどの通信網、オンライン決済などが必要となってくるが、これらの取り組みの考えは。

**A** この取り組みは、行政だけでなく民間できないので、官民連携による「オール時津」として一体的に整備すべきと考え、財源面でも、国・県の補助制度の活用はもちろん、民間資金の導入検討や、交付税措置のある地方債の活用など、複数の手法を組み合わせ、一般財源に過度に依存しない安定的な財源基盤を構築した取り組みを推進していきたいと考えている。

**Q** サップ体験ツアーやサップの全国大会などを開催し、大村湾の活用を図れないか。

**A** 新たなイベントとして、サップだけではなく、カヌーやバナナボートなどのマリンスポーツ体験をはじめ、大村湾に親しむ多様な体験型プログラムを取り入れた魅力あるイベントにするため検討を進めている。

**Q** 本町の鷹島は、カトリック禁教令時に2人の宣教師と1人の日本人伝道者が処刑された島である。ここを聖地として世界遺産の追加登録に取り組む考えはないか。

**A** 世界遺産の追加登録を検討することは、歴史資産の継承や、町全体の活性化につながる選択肢の一つとされているが、厳格な要件と長期的な取り組みが不可欠な為、現時点では、まず、観光資源の掘り起こしと、効果的なPRに全力を注いでいく。

**Q** 時津港発着の大村湾クルージングツアーに取り組んではどうか。

**A** 県外からヒトを呼び込むため、空港からの高速船利用の促進と合わせ、時津港を発着点とする大村湾周遊観光船の運航などの計画に取り組んでおり、今年度中にモニターツアーを実施する予定である。

**Q** これ以上の大村湾の埋め立てやコンクリート護岸工事はやめるべきと考えるが、町の見解は。

**A** 時津町の天然の海岸の地先では、大村湾漁業協同組合の漁業者の方々が漁業資源の回復や海の環境改善対策として、藻場造成事業を懸命に取り組んでおり、町も積極的に支援している。

波静かな大村湾の天然の海岸は、景観上もとても素晴らしいものがあり、残された天然の海岸を保全していく必要があると考えている。  
新たな埋め立て計画やコンクリート護岸構造物の設置予定はない。



災害時に活用されるドローン

ドローンの先進地を目指せ

災害時など有用なため、ドローンは活用していく

山上 町長

**Q** 教育現場で体験会はできないか。

**A** 過去に体験会を実施した経験と課題を踏まえ、講師の確保などの諸条件を整えば、公民館講座を開催し、社会教育の一環としてドローン体験ができるか方法を検討していく。

**Q** ドローンを災害時に活用できないか。

**A** 「防災・減災に係る情報収集」「災害発生時の被災状況の情報収集等」などの為、令和5年にドローンを購入しており、今後も迅速な情報収集や救助活動において重要な役割を果たすことが見込まれるので、安全で効果的な利活用を図っていく。



今後のSNS活用の考えは

積極的な情報発信に  
取り組んでいく

山上 町長

Q 以前よりSNS活用の頻度は上がっているが、今後のSNS活用についての町の考えは。

A 町の魅力を効果的にPRする「広報戦略」が特に重要と考えている。さらに情報発信を強化するため、「PRコーディネーター」を戦略推進課に配置し、SNSをはじめ、テレビ、広報紙、新聞など、多様なメディアを通じて、戦略的かつ積極的な情報発信に取り組んでいる。



Umi to Kaze 公園マーケット

効果は、数値で表れており、Instagramのフォロワー数は、昨年より約1.4倍増加、LINEの登録数は、約2.4倍増えている。

さらに、SNSの情報発信力を最大限活用するため「時津オフィシャルアンバサダー」の募集を令和7年11月末から開始し、時津町を大好きな方に知名度とブランドイメージ拡大に向けて、積極的に投稿し、魅力を発信して貰うように考えている。

Q 町内イベント等の協力体制は。

A 時津の魅力を日本全国に伝える観点から、営利が生じる場合であったとしても、時津のブランド力を高めるものであれば、官と民で壁を作らず、官民が連携して「オール時津」として積極的に支援していく。

Q 魅力PRの基本的な考え方と、その効果測定をどのようにしているか。

A これまでのお知らせ中心から、今後は閲覧する方々が共感し、能動的に関わりたくなる発信に努めていきたいと考える。

効果測定は、「リーチ数」や「フォロワー数」による【認知度の効果】、「いいね」、「コメント」、「シェア」による【関心や共感の度合い】、リンクのクリック数による【行動喚起・

誘発度】の程度が測定できるので、これら、3つの指標を意識しながら、魅力的な情報発信について研究を重ねていく。

ケアラー支援の取り組みの考えは

支援体制の充実を進めている

山上 町長

Q ケアラーを取り巻く環境を改善する取り組みを、県などと連携して検討すべきと考えるが、町の見解は。

A 高齢者の方など、本人が希望する医療や介護を受けやすい環境となるよう、定期的に長崎県を含めた関係者で協議を行うとともに、「住民の方に向けた普及啓発活動」、「各地区で開催される出前講座等におけるアドバイザー派遣」、「ケアラー支援に関する先進事例の情報提供」など、必要な連携を図っている。

全てのケアラーが取り残されないよう、このような取り組みの周知を行うとともに、継続的な支援の実施を考えている。

Q 「家族介護教室」を開催しているが、平日午前中の為、ビジネスケアラーは参加が難しい。

開催時間帯等の検討はしないか。

A 今後の開催は、午前中に限らない時間帯や土曜日、日曜日の開催を含め、ビジネスケアラーが参加しやすい方法等を研究していく。

Q ヤングケアラーは、看護の悩みや不安を発信することができない場面が多いとあると考えられる。その悩みや不安の声を受ける環境づくりについての町の見解は。

A 令和3年度から「ヤングケアラーに関するアンケート」を実施し、各児童・生徒の家庭状況の把握に努めている。

今後も子どもの支援を行う関係機関、部署と支援が必要と判断されたケースの情報共有を図り、対象者の把握に努め、ヤングケアラー等の対象者がいた場合には、対象者の負担が少しでも軽減できるよう、具体的な支援策について検討していく方針である。



仕事と看護の両立は、大変



濱崎 幸徳 議員



録画放送はこちらから

障がい者医療費の現物給付を急げ

令和8年4月から現物給付の導入を決定

山上 町長

「福祉の党」公明党として医療費助成は、議員になって常に訴えてきた。これまで、「AB1検査」の助成や、多胎妊婦への健診の助成回数拡大、最近実現したのは、小中学生のインフルエンザ接種費用の無償化があるが、本当に助かるのは、医療費の現物給付だと思う、そこで、本町の現物給付について伺う。



書類が多くて大変困る

Q 医療費の現物給付がまだ無く、償還払いが一番困っているのは、障がい者とその家族だと思う。

A 議員になって、長年障がい者家族からは、医療費現物給付の要望があり、人にやさしい町づくりを目指す山上町長には、是非とも障がい者医療費の現物給付を強く要望するが山上町長の見解を求めます。

Q 障害をお持ちの方の福祉医療費については、長崎県の事業として償還払い方式により実施しているが、本町としては、障害者団体等からの現物給付導入に対する要望があり、障害者やその家族の負担軽減や利便性向上の観点から、「町長ミーティング」において協議した結果、令和8年4月から本町独自で現物給付を導入することを決定した。

投票立会人の拘束時間は長すぎでは

投票時間を短縮したいと考える

植田 選挙管理委員長

Q 本町の立会人の確保はどのように行っているか。

A 選挙執行日の約3カ月前から、町ホームページに掲載し、2カ月前の広報紙にて募集を行っている。期日前投票立会人は募集人数に達

しているが、選挙当日の立会人は応募者が不足しており、会計年度任用職員や、常勤職員の家族等に声をかけるなどの対応により、投票立会人の確保に努めている。

Q 立会人の拘束時間や報酬について苦情は出ていないか。

A 立会人拘束時間が長時間に及ぶことから投票立会人の応募が少ないといった課題を踏まえ、当日の投票時間を午前7時から午後6時までの11時間に短縮したいと考える。

報酬については、「国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律」があり、本町の報酬も同額としている。

小学校に給水スポットの設置を

給水機の要望の声が無いので設置しない

相川 教育長

Q 真夏に小学生の登校を、交通指導員として見ているが、どの子どもも登校時は汗だくで、信号待ちでは、水筒から水分補給を行っている子どもが多く見られる。

A 学校内では、水筒が空になった時点でどのように水分補給をさせているか。



B&Gの冷水機

A 教育委員会から各学校を通じて「大きめの水筒に十分な量を持たせること」を保護者へお知らせしており、水筒が空になったときは、水道水で、水分補給を行っている。

Q せめて、小学校には熱中症対策のためにマイボトル専用の給水機の設置が必要ではないか。

A 児童の熱中症対策には、大きめの水筒持参に加え「登下校中の荷物を少しでも軽くするため、家庭学習で使わない教科書などは学校保管とすること」、「ネッククーラーや日傘の利用を可能とすること」など、保護者へお知らせしており、保護者からはマイボトル専用給水機の設置を要望する声は学校や教育委員会へ寄せられていないため、現状としては設置する必要はないと感じている。今後、学校現場からの意見を聞き取り、検討していく。



デジタルウォーキング  
イラストマップの活用は

町民の健康づくりに活用したい

山上 町長

**Q** 本町は、「歩くまちづくり」事業として、デジタルウォーキングイラストマップ、ゴムチップ舗装、健康遊具の設置を通して、町民の皆さんへの健康づくりに取り組んでいます。

**A** デジタルウォーキングイラストマップの登録者数の目標はあるか。  
**A** 登録者数の目標は設けていないが、閲覧者数を目標として掲げており、令和7年度の目標を2千人としている。



デジタルウォーキング  
イラストマップ

10月1日に公開してから、11月末の時点で、約1千8百人の閲覧があり、目標達成まで、あと約2百人となっている。

**Q** 全11コースあるが、全コースを5回・10回と回った達成者に（達人・名人等）を付けて認定状を渡す事はできないか。

**A** 現時点では考えていないが、多くの方が継続して町内をウォーキングしたくなるような仕掛けを考え、デジタルウォーキングイラストマップを活用した、町民の健康づくりに町全体で取り組んでいきたいと考えている。

南公園の整備を

現在、実施する計画はない

山上 町長

**Q** 時津ウォーターフロント公園、ときつ海と緑の運動公園には、ゴムチップ舗装、健康遊具を設置しているが、ウォーキングコースにゴムチップ舗装をする計画はあるか。

**A** 園内を周回する場合、駐車場及び駐車場間をつなぐ車道を通る事になり、交通事故の危険性が高くなる。

また、駐車場や車道以外の場所は、延長が約360メートルしかなく、ゴムチップ舗装の連続性が確保できないと考えており、実施する計画はない。

**Q** 健康遊具を設置する計画はあるか。

**A** 本町としては、「時津ウォーターフロント公園」と「ときつ海と緑の運動公園」の2つを拠点として、ウォーキングコースと健康遊具を活用した町民の健康づくりを行ってみたいと考えていることから、現在のところは考えていない。

小学6年生・中学3年生の  
給食費無償化を

国の動向を注視したい

相川 教育長

**Q** 小学生・中学生に要する一人当たり1食の食材費はいくらか。

**A** 小学生は、約322円。  
中学生は、約405円。

**Q** 給食費を据え置いて、材料費等の高騰分を本町が負担しているが、令和4年度、5年度、6年度の負担額はいくらか。



ある日の小学校の給食

**A** 令和4年度69万9千円。  
令和5年度99万5千7百円。  
令和6年度1千870万円。

**Q** 小学6年生・中学3年生は、翌春には進学する事により、制服・体操服、その他出費が重くのしかかるので、まずは、小学6年生・中学3年生の給食費を無償化できないか。

**A** 学校給食費無償化の実現を巡っては、令和7年2月25日に政府与党と野党の3党による来年度予算案に関する会談が行われ、「まずは、小学校を念頭に給食費無償化を令和8年度に実現し、中学校にも速やかに拡大する」こととなり、本町としても国の動向を注視したい。



古谷 文夫 議員



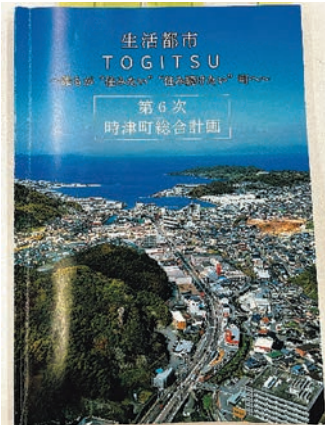
録画放送はこちらから

令和12年の総人口2万8千600人は維持できるか

あらゆる施策に最大限取り組み、維持を目指している 山上 町長

**Q** 時津町第6次総合計画は、2021年度から2030年度の10年間となっており、「毎年見直しを行う」とあるが丁度折り返し点にきた。2026年から2030年の5年間の人口見直しは。

**A** 町の人口推計は、国立社会保障・人口問題研究所の推計を用いており、5年ごとに実施される国勢調査を基礎資料として推計され、詳細な推計値はない。



折り返し地点にきた総合計画

**Q** いろんな課題がある中で、財政は最も重要であるが、人口減少の中で今後5年間の歳入額、歳出額をどう見ているか。

**A** 人口減少は主に普通交付税に影響が出てくるが、国勢調査の人口をベースにしている。

決算監査で提出している中期財政計画である振興計画に基づいて答えると、令和9年度では、歳入額119億540万6千円、歳出額124億4千423万4千円と見込んでおり、その差額5億3千882万8千円の不足が出るので、減債基金及び用地取得等基金の取り崩しで対応する予定である。

また、令和11年度までの今後5年間においては、時津中央第2土地区画整理事業において、令和7年度以降は単独事業が主となり多額の一般財源を必要としており、用地取得等基金の残高は令和6年度末では、15億9千702万6千円であったのに対し、事業完了予定の令和11年度末では、約1億4千万円程度まで減少する見込みである。

今後5年間は、更に堅実な財政運営が求められるので、将来の発展を見据えたハード面のビジョン及び投資計画を入念に検討していく考えである。

基金の運用は進んでいるか

今年度中に運用を開始する準備をしている 山上 町長

**Q** 基金の受取利息は、令和2年度から令和6年度までいくらか。

**A** ※答弁内容は表の通りである。

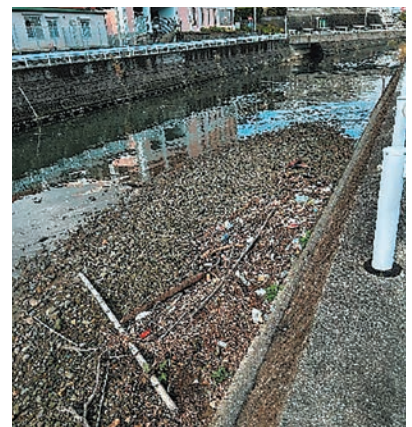
| 年度    | 預金利息       |
|-------|------------|
| 令和2年度 | 51万601円    |
| 令和3年度 | 9万4,124円   |
| 令和4年度 | 9万3,566円   |
| 令和5年度 | 6万2,986円   |
| 令和6年度 | 228万6,311円 |

**Q** 県内では、2022年度に11市5町の16団体が基金を運用している。

早急に基金の運用をするべきと考えるが、町の取り組み状況は。

**A** 本町では、金融機関への預金によって運用しているが近年の金利上昇で債券による基金の運用の検討を進めている。

今年度中に運用開始に向けての準備をしている。



時津川の状況

時津川の清掃はどう取り組むか

状況を確認しながら、回収作業を実施していく 山上 町長

**Q** 令和7年10月20日、産業振興課・都市整備課・住民環境課とボランティアによって時津川の清掃が実施され、トラック4、5台分の浮遊物が処理された。

このような取り組みを継続して毎月一回行えないか。

**A** 時津川の浮遊物の回収作業は、職員の通常業務や人員体制の確保などからみて、継続した毎月一回の実施は非常に難しいと考える。

しかしながら、環境美化の観点や今後の浮遊物の量など確認し、熱中症の危険性が高い夏場や、寒さが厳しい冬場を除き、年二回程度を目途に、回収作業をしたとを考えている。



胃カメラ検査を他市町で受けられないか

統一は困難な状況である

山上 町長

**Q** 胃カメラの検診は、町内の病院では町民の負担する受診料は2千円となっている。

他の市町の病院では、個別検診の対象となっていないが、他の市町で受けられるようにできないか。

**A** 町外の医療機関に委託する場合は、近隣市町間で実施方法や検診単価、受診者負担金などを統一する必



がん検診の申込書

要があり、現状、近隣市町とは検診単価に差があり、統一は困難な状況である。

**Q** 社会保険加入者が町の集団検診で行う色々ながん検診は受けることが可能か。

**A** 本町が実施するがん検診については、集団検診及び個別検診の両方とも、対象要件に該当する町民であれば、健康保険の種別に関係なく受診することが可能である。

イノシシ対処の仕方は

町のホームページに掲載している

山上 町長

**Q** 子どもたちが日常の生活の中で、イノシシに出くわした時の対処の仕方を学校で指導する機会は設けられているか。

また、町民に対してはどうか。

**A** 子どもや学校への対応としては、9月に、時津図書館から時津小学校付近での目撃情報があり、子どもたちへ注意喚起を促し、教育委員会を通じて学校に連絡した。

その後、時津小学校の「安心メール」において、保護者及び子どもたちへ周知している。

市街地での目撃などについては、産業振興課、時津警察署へ連絡、身体・生命の危険がある場合など緊急時には110番通報する。

町ホームページに掲載し、町民の皆様へも周知している。

**Q** 町民への安全対策として、箱ワナの設置をして頂いているようだが、それに対しての基準等は有るか。

**A** 箱ワナの設置については、有害鳥獣対策の一つである捕獲対策として実施しており、農作物等を守る防護対策であるワイヤーメッシュ柵の設置箇所を踏まえて、イノシシの移動経路を確認した上で、効果的な場所を選んでいく。

また、一定期間、捕獲の実績がない場合などは、設置場所を移動させるなど、狩猟免許を所持している猟友会の専門的な判断を最優先に対応している状況であり、明確な基準等を設けてはいない。

時津中学校の体育館に  
グランドピアノの設置を

買い替えを必要とする  
状況にはない

相川 教育長

**Q** 時津中学校体育館のアップライトピアノであるが、鳴北中学校と同



体育館にあるアップライトピアノ

じようにグランドピアノに買い替える予定は有るか。

**A** 町立小中学校は、すべての音楽室と体育館にピアノを設置している。時津中学校の2つの音楽室には、それぞれグランドピアノが1台ずつと体育館には、他の小学校4校と同様にアップライトピアノの合計3台が設置してある。

このアップライトピアノは、老朽化や故障による不具合は発生しておらず、合唱コンクールや校歌の演奏についても現在のままで子どもたちの歌声が十分に響きあっている。

また、学校から更新の要望なども寄せられていないため、現状としては、買い替えを必要とする状況にはないと考えている。



内田 裕三 議員



録画放送はこちらから

町内放送は緊急放送のみには

今後も放送内容を鑑みながら  
情報伝達に努める

山上 町長

**Q** 放送が「うるさい」、「やかましい」などの苦情に対する対応は。

**A** 「音が大きくてうるさい」などの意見はあるが、一般行政上の連絡、広報に関する放送をする際は、災害や緊急を知らせる放送よりも音量を下げた放送しており、放送時間帯についても、住民に迷惑にならないよう配慮している。



放送機

**Q** 放送が「聞こえない」という苦情に対する対応は。

**A** 放送内容を確認できる「メール配信サービス」や「電話応答サービス」の案内をしており、その他、音達調査の結果に基づき戸別受信機を無償で貸し出している。

**Q** 放送内容で放送するかしないかの基準は。

**A** 各課長等から提出された「無線放送許可願」を総務課長が放送内容を確認し、放送するかしないかの基準は、「広く住民に知らせる必要があること」、「他の情報伝達手段では、情報が必要とする方に伝えることが困難であると認めるもの」、「行事の変更又は中止等短時間に周知する必要があること」、「町の施策のうち特に重要なものであって、その推進にあたって広く住民の参加、協力が必要とするもの」、以上の基準に照らし、総合的に判断し放送するかしないかを決定している。

地域自主防災組織の強化の考えは

地域力の強化に努める

山上 町長

**Q** 地域防災力を充実強化するために、防災意識の普及や啓発は十分に行っているか。

**A** 町内自治会全てにおいて自主防災組織が結成され、避難訓練や防災意識の啓発活動等を実施している。

住民には防災訓練の機会などを通じて、自助として自らの命を守ることを最優先とし、水、食料の備蓄、災害に対する正しい知識の習得、防災訓練、防災講座への参加などに努めるようにお願いしている。

また、いざというときに互いに支え合う地域力の強化に努め、災害時には避難所支援や避難所運営、被災者支援活動への協力をお願いしている。

**Q** 住民が災害時に危険と感じている箇所は把握できているか。  
また、住民への周知は。

**A** 大雨などの自然災害への備えとして、より充実した防災訓練を行えるよう小学校区単位として実施している。

また、被害が想定される区域を示した「防災ハザードマップ」、「時津川洪水ハザードマップ」、「子々川洪水ハザードマップ」、を自治会に配布し、町ホームページでも掲載している。



防災倉庫

**Q** 自主防災組織が管理する防災資器材の点検整備はできているか。

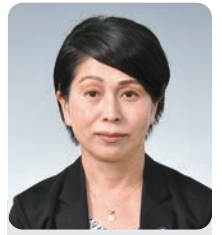
**A** ヘルメット、サーチライト、ハンドマイク、担架などの資材を自主防災組織に配付し、整備点検は防災訓練などで定期的に行っている。

**Q** 避難行動要支援者対策として災害時の避難誘導に対し、どのような伝達、案内を行っているか。

**A** 要支援者一人ひとりの避難について、「誰がどのような支援を行うか」等の具体的な内容を記載した個別避難計画を作成して、要支援者に対し避難情報を伝達し安否確認を行っている。



島原市のコミュニティバス



浜辺 なみえ 議員



録画放送はこちらから

本町もコミュニティ交通の導入を

現時点では導入は考えていない

山上 町長

**Q** 住民の移動が制約されると、日常生活や文化生活、社会参加がきわめて貧困になり、極端な場合は生存権が脅かされる状況となる。

**A** 国及び自治体は、国民・住民の生存を保障する責務を負い、そのため、すべての人に移動を平等に保障する責務を負うべきと考える。

2024（令和6）年1月に改定された長崎県地域公共交通計画では、自治体が委託又は事業者との運行するコミュニティ交通を導入されていないのは、県内で本町を入れて4町だけとなっている。

本町でもコミュニティ交通を導入する検討はしていないか。

**A** 県内で、令和6年度末で乗合タクシーやコミュニティバスなどコミュニティ交通を実施していないのは、本町と長与町、佐々町の3町となっている。

コミュニティ交通の導入は、原則として交通不便地区の解消を図ることを目的とするものだが、本町はコンパクトな町であり、公共交通機関も充実している。

本町としてはバス路線の充実、利便性の向上に努め、道路などの交通インフラの整備や高齢者交通助成事業の実施など公共交通の維持・確保に努めたいと考えており、コミュニティ交通の導入は考えていない。

不登校家庭への支援として  
フリースクール費用に補助を

補助の実施は考えていない

相川 教育長

小中学生の不登校はこの10年で3

倍と急激に増加して令和6年度は35万人を突破し、長崎県も過去最多の4千113人となっている。

不登校は心が傷つき休息が必要な状態であることを示しているものであり、不登校は子どもものせいでも、親の甘やかしのせいでもない。

いま求められるのは、行き渋りや不登校で悩んでいる子どももや保護者への支援策だという立場から、以下のことを質問する。

**Q** 本町にはフリースクールや教育支援センターなど学校外機関はそれぞれどのようなことを行っているか。

**A** フリースクールが1カ所と、町が設置している校外型の教育支援センター「ひだまり」が1カ所ある。フリースクールでは座学による学習とプリントや1人1台端末の学習用教材を利用した勉強、植物の観察や採取、調理、習字、リズム遊びや体感トレーニングを実施している。

教育支援センター「ひだまり」では、読書や学習、卓球などのスポーツのほか、野菜栽培に取り組み、収穫して調理するなどを通じて、集団生活への適応をめざしている。

**Q** これらの学校外機関に通う費用や、利用している人数はどれくらいか。



不登校の子どもが利用できる「ひだまり」

**A** 町内にあるフリースクールへ通っているのが3名、町外へ通っているのが7名の合計10名、「ひだまり」は現在12名になっている。

民間のフリースクールの費用は、概ねひと月3万円程度のように、「ひだまり」は公共の施設であり、費用は無償となっている。

**Q** 町として、フリースクールなどに通う費用への補助ができないか。

**A** 補助の実施は考えていない。

**Q** 不登校の子どもは、給食無償化にできないか。

**A** 不登校などの理由により5日以上連続欠席の場合、3日前までに学校を通じて届出を行えば、給食費の徴収はしないことになっている。



大塚 俊久 議員



録画放送はこちらから

2027号の渋滞緩和対策を

警察との協議を開始した

山上 町長

打越工区の工事の進捗状況は。

A 令和9年度の完成を目指して、順調に事業を進めている。

Q 「小島田公民館から国道2027号交差点」区間の早急な渋滞・安全対策が必要と思うが町の考えは。

A この約200メートルの区間については、ヤマダ電機前交差点から



イオン前交差点

連続している西時津左底線及び西時津小島田線（打越工区）が開通した際には、この区間の交通量の増加が予想される。

この国道2027号交差点は、長与方面への右折帯がないことで、渋滞や歩行者の安全性が懸念される。

そのため、この区間については、現在9メートルから12メートルに道路を広げ、右折帯を設置し両側に歩道を整備する。

昨年度から都市計画道路西時津小島田線（札の元工区）道路事業に着手し、令和11年度末の完成を目指している。

現在の進捗状況は、測量・設計業務を実施しており、令和7年11月から、交差点の形状など警察との協議を開始した。

国道2027号の交差点部分の形状が決定すれば、区間全体の道路形状も示せると考えている。

Q 打越工区の道路完成時は、通学路として認定すべきと考えるが、町の見解は。

A 打越工区は令和9年度末完成を目指して事業が進行中で、この道路は西時津小島田線（札の元工区）が整備されると、東小学校に通学する児童にとって安全快適な通学路となる見込みである。

道路が完成した際には、安全性の現地確認を速やかに行い、新たな通

学路として設定を行う予定である。

部活動の地域移行に  
財政的な支援を

支援の在り方を考えていきたい

相川 教育長

Q 中学校の部活動の地域移行を推進するにあたり、人材の確保には苦労すると思われるが、町としてどのような考えがあるか。

A 指導者の人材確保については、中学校部活動の外部指導者を中心に、町スポーツ協会や町スポーツ推進委員、県の人材バンクなど、あらゆる団体と連携しながら指導者の人材確保に努めており、現時点において指導者は確保されている状況である。

Q 少子化により廃止となった部活動はないか。

A 少子化により廃止となった部活動は、現在はないが、時津中学校と鳴北中学校の野球部は部員が減少し、練習や試合をするための人数が学校単位では十分に揃わないため、合同で部活動を行っている。

Q 子ども達が安心して部活動ができるように、活動費などの財政的な支援について、どのように考えるか。



部活の様子

A 国・県に対して部活動の地域移行に対し「実施団体の持続可能な運営のための恒久的な支援」への必要な財政措置を講ずるよう要望している。

現在、国・県から具体的な補助制度の内容は示されていない。

町としては、学校や地域クラブなど関係団体と協議し、支援の在り方を考えていきたい。

Q 今後、すべての部活動の地域移行はどのように進めていくのか。

A 現在、両校の部活動数は28団体で、部活動の実情が異なる為、難しいところがあったが、令和8年度からすべての部活動が休日において地域移行する見通しが立ったところである。



川原 貴光 議員



録画放送はこちらから

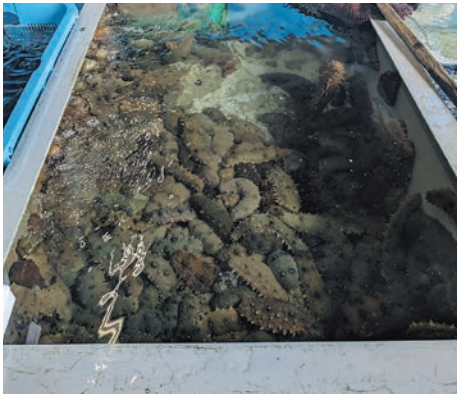
ナマコ不漁の対策・支援を強く要望する

しっかりと支援に取り組んでいく

山上 町長

**Q** 大村湾の藻場の再生事業の現状と成果を踏まえた今後の考えは。

**A** 6月に投入した母藻を回収した際、西時津郷の恵比須崎付近や区域を拡大した沖ノ瀬より北側では、藻が発生しているのを確認している。来年には、今年の春よりも藻場の区域が広がり、良好な藻場が形成さ



ナマコ

れるのではないかと考える。

**Q** ナマコの支援と対策、そして、今後の見込みは。

**A** 町としては、親ナマコ700キログラム（約2000個）の購入費用100万円を大村湾漁協へ全額助成し、ナマコの産卵時期の前である本年3月に、漁業者の方によって時津沿岸に親ナマコを放流してもらった。

また、ナマコ不漁対策の支援にもしっかりと取り組んでいく。

**Q** 陸上養殖を研究する時期かと考えるが町の見解は。

**A** 漁業者と意見交換をしながら、研究していきたい。  
また、水産業の振興にかかる新たな取り組みについては、内容を精査したうえで、支援する方向で考えている。

**Q** 意欲がある若手漁師の育成のため、事業計画を策定した者に運営が安定するまでの補助を出すなどの施策はできないか。

**A** 各漁業者それぞれの具体的な相談内容に応じて、利用可能な補助制度など県の事業を活用しながら、支援していきたいと考える。

**Q** ウォーターフロント公園を使った大々的な牡蠣焼きイベントの計画を望むが町長の見解は。

**A** ウォーターフロント公園で行われるマルシェなどのイベントとの連携などについては、今後、検討していける部分はあると考える。

郷土芸能を盛り上げては

5年に1回程度披露する機会を提供したい

山上 町長

**Q** 本町の郷土芸能はどういったものがあるか。

**A** 子々川郷の「浦安の舞」、日並郷の「コッコデシヨ」、久留里郷の「よさこいソーラン」、左底郷の「銭太鼓浮立」、野田郷の「黒丸踊り」、元村郷の「龍踊り」、浜田郷の「浜田浮立」、西時津郷の「志賀団七踊り」がある。

**Q** 郷土芸能には、どのような補助事業があるか。  
もし無ければ手を差し伸べてほしいが町長の見解は。

**A** 町制施行周年記念事業の中間年となる5年に1回程度、郷土芸能を披露する機会を提供したいと考えている。



浜田浮立



コッコデシヨ

今後も町主催イベントへの出演に係る謝礼金や、まちづくり補助金による備品購入費や修繕料に関する補助などの経済的支援、また、郷土芸能を披露する機会の提供を継続していきたい、地域の方には、引き続き郷土芸能を継承していく人材の育成をお願いしたい。



平埜 靖 議員



録画放送はこちらから

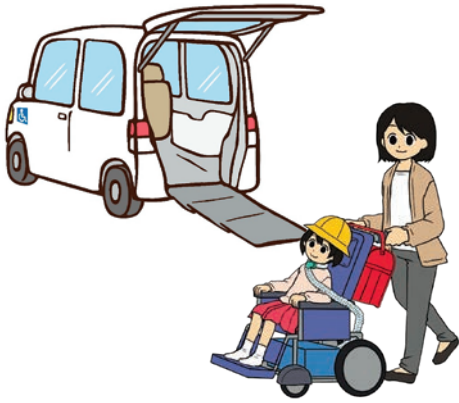
町独自の助成制度創設の考えは

新たな助成制度を創設する考えはない

山上 町長

内閣府発表の令和7年度版高齢社会白書によると、我が国では高齢化が急速に進展し、65歳以上人口は総人口の約3割を占めている。

こうした中、介護タクシーや福祉タクシーは、高齢者の通院や買い物、冠婚葬祭などの外出を安全に支える重要な移動手段である。



介護タクシー

**Q** 介護タクシー・福祉タクシーの町独自の助成制度創設の考えは。

**A** 新たな助成制度を創設する考えはない。

**Q** 時津町における65歳以上の人口及び高齢化率と、介護タクシー利用対象者数は。

**A** 時津町の令和7年3月現在の総人口は2万8千995人で、このうち65歳以上の人口は8千80人、高齢化率は27.9%。要支援・要介護認定を受けている方のうち、介護タクシーの利用対象となる方は941人となっている。

**Q** 介護タクシーと福祉タクシー利用時の料金・申込方法・精算方法の違いは。

**A** 介護タクシーとは、要介護認定を受けた方が、介護保険制度に基づく訪問介護サービスの移送支援として利用するもので、要介護1以上の方が通院等の際に利用する「通院等乗降介助」が該当する。

また、要介護4又は5の方が、外出時に介護スタッフの介助を受けてタクシーを利用する場合も対象となる。利用にあたっては、担当のケアマネジャーに相談し、手続きを行うことが必要。

なお、令和3年度の介護報酬改定により、目的が複数ある場合であれば、介護タクシーの利用が可能となった。

介護サービス費用に係る利用者負担分については、月ごとに介護サービス事業者からの請求に基づき支払うこととなるが、乗車運賃は利用時に直接支払う必要がある。

福祉タクシーとは、介護保険制度に基づくサービスではない。利用者本人や家族などが、直接予約を行い、精算は利用毎にお支払いいただく。

借用地についての考えは

借用地は町が買い取る方向

山上 町長

鳴鼓岳は昭和41年に県立自然公園に指定された山で、中腹の駐車場を起点に登山道が整備されている。

平成24年度からは、荒廃山林を整備し、ドングリなどを植栽する「プロジェクトDどんぐり事業」により、里山再生とイノシシを山へ戻す取り組みが進められている。



ドングリの森案内看板

**Q** プロジェクトDどんぐり事業の今後の展望と借用地の買い取りは。

**A** 鳴鼓岳では、林道の拡張や離合場所の整備、休憩所や園内道・歩道、林道沿いベンチの設置を進めてきた。

今後は町内外へ情報発信を行い、景観や憩いの場としての活用を促進するとともに、趣旨に賛同する方々の協力を得て「プロジェクトDどんぐり事業」を継続し、地域活性化につなげていく。

あわせて、現在借用している土地については、町が買い取る方向で検討を始めているところである。

# 議員活動報告

## 総務文教常任委員会視察研修

期日

令和7年9月30日～10月1日

目的

町議会の活性化に資するため

研修先

佐賀県上峰町・熊本県南関町

研修議員

森委員長、大塚副委員長、

浜辺委員、中原委員、川原委員、

永田委員、鳥居委員

### 1. 佐賀県上峰町

「上峰町における

新しい英語教育の取り組み」

【研修内容】

- ・オンライン英会話など新しい英語教育の導入運用についての課題やその取り組み。
- ・英語専科教員（町費講師）の配置など。



上峰町長も参加した研修会

### 2. 熊本県南関町

「スポーツ協会

NPO法人運営について」



研修風景

講師

NPO法人「いきのなんかん

原口理事長、西田事務局長

【研修内容】

- ・NPO法人設立にあたって。
- ・部活動の地域移行についての体制整備や指導者派遣など。
- ・町内施設運営管理について。

### 3. 豊前街道 南関御茶屋跡



史跡 豊前街道南関御茶屋跡

## 総務文教常任委員会意見交換会

【時津町PTA連合会】

令和7年11月14日（金）に時津町

PTA連合会と総務文教常任委員会にて意見交換会を行いました。

そこで述べられたご意見の一部を紹介いたします。

○学校、PTA、町の連携の体制作りについて。

○役員のみならず手不足や当て職の解消等について。

○PTA加入の衰退現象に係る対策について。

○九州PTA大会の宿泊等の助成について。

○PTA活動等の周知について。



交換会風景



東小PTA 金原恵介会長

運営側の負担や課題を皆さんと共有でき、現場の声を議員の方々にお届けできたと思います。また機会があれば宜しく願います。

## 産業厚生常任委員会意見交換会

【大村湾の観光資源について】

令和7年10月28日（火）に持続性

のある活力あるまちづくりを図ることを目的として、大村湾に関わる企業や活動者と産業厚生常任委員会にて意見交換会を行いました。

そこで述べられたご意見の一部を紹介いたします。

○歴史旅や特産品を組み合わせたテーマ性のあるツアーの提案。

○クルージングを地元の食と組み合わせさせた移動型観光の提案。

○大村湾に関する観光案内所の設置について。

○大村湾時津地区をSUP聖地とすることについて。



交換会風景

# 交流広がるゲートボール

〔時津町議会 議長杯〕

令和7年10月17日(金)に時津町ゲートボール協会の方々とは今年もゲートボールで楽しい一日を過ごしました。

ゲートに通るか!!  
玉に当てる!!  
ピタリと止める!!



大勢の皆さんに参加して頂きました。



真剣勝負



女性議員も真剣



表彰式



第1ゲート  
無事通過!!



ゲートに通るか!!



優勝  
チーム



2位  
チーム



3位  
チーム



## 総務文教常任委員会にて給食試食会

令和7年11月27日(木)に総務文教常任委員会にて時津町学校給食センターに行き、給食(小学校)を試食してきました。



とても美味しかったです



議長もガッツリ食べていました

当日のメニュー

- ごはん
- 春雨汁
- さんまのゆずみそ煮
- 卵の花炒り



# 郷土芸能存続の危機!?



郷土芸能は、一般的には、地域で伝承されていること、長年継続して行われていること、地域住民が主体となって保存・継承していること、祭礼や行事と結びつき、地域の生活文化に根差していること、民俗・歴史的な価値を有すること、といった点が基準とされている。

時津町の郷土芸能は8つあるが、

これらを保存・継承していくにあたっては、各地区とも共通する問題や悩みを抱えている。

例えば、

- ◎メンバーの高齢化が進んでいること
- ◎郷土芸能を継承する人材が減少していること
- ◎自治会離れが深刻化していること
- ◎郷土芸能を披露する機会が少なくなっていること

◎備品購入費や衣装などの修繕料を賄う財源が不足していることなどが挙げられる。

町は郷土芸能の保存に関わる各地区のメンバーと意見交換会を開催し、郷土芸能を保存・継承していくための課題を洗い出し、情報共有を図っているところです。



野田郷の「黒丸踊り」

日並郷の「コッコデショ」





子々川郷の「浦安の舞」



元村郷の「龍踊り」



左底郷の「銭太鼓浮立」

このほかにも、  
久留里郷の「よさこいソーラン」、  
浜田郷の「浜田浮立」  
があります。



西時津郷の「志賀団七踊り」

町としては、今後も町主催イベントへの出演に係る謝礼金や、まちづくり補助金による備品購入費や修繕料に関する補助などの経済的支援、また、郷土芸能を披露する機会の提供を継続していく。

例えば、10周年ごとに開催している町制施行周年記念事業の中間年となる5年に1回程度、郷土芸能を披露する機会を提供したいと考えている。

地域の方へは引き続き、郷土芸能を継承していく人材の育成をお願いしたいと考えている。

(令和7年12月4日  
定例会での答弁を引用)



山上町長

# 総事業費・約5億3千万円 コスモス会館改修工事完成!



新武道場

旧



新



旧相撲場が大会議室に

フィットネス  
ルーム完成



12月議会の傍聴者は、延べ27人でした。  
次の定例会は、  
令和8年3月3日(火)からの予定です。  
皆様の傍聴をお待ちしております。



和式トイレが→なんと!



最新式洗浄便座付の  
洋式トイレに大変身

議会開催中は、「時津町議会本会議」を同時放送します。

<https://togitsu-town.stream.jfit.co.jp>

時津町議会映像配信

検索

